

つれづれなるままに 第17号

令和2年7月19日（日）発行



校長 深谷 浩一

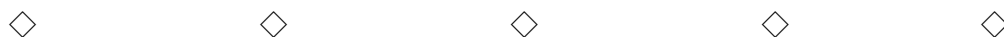
中央，水戸啓明に完敗！ ～青木（尚），意地の2安打！～

1回戦，笠間高校を相手に21対2という大差で勝利を収めた本校は，去る18日日立市民球場で行われた2回戦で水戸啓明高校と対戦しました。

試合開始前は小雨模様でしたが，11時50分に試合が始まるとまもなく雨も収まり，日が差すようになりました。試合の流れを本校の攻撃を中心に振り返ってみます。



2安打で活躍する青木（尚）君



チャンスは初回にやってきました。先頭打者としてバッターボックスに立った，キャプテンの小松崎（3年・千代田中）はいきなりサードへのセーフティバントで出塁。1回戦での大量得点をを思い出し，大いに期待しましたが，続く阿野田（3年・石岡中）はショートゴロ，3番大畠（3年・城里城北中）はセカンドフライに倒れ，あっという間に2アウト。続く4番の金敷（3年・八郷中）もスイングアウトの三振で無得点。相手投手の球速に押され

気味の感が否めません。

その裏、今度はピンチがやってきました。2アウト2，3塁からファーストゴロエラーなど守備の乱れから2点を先制されてしまったのです。

2回は5番野口（3年・玉里中）がレフトフライ，6番高野（2年・石岡中）がセカンドフライに倒れた後，7番青木（尚）（3年・稲田中）がヒットで出塁し，セカンドへ。得点のチャンスでしたが，続く柴田（2年・岩瀬西中）ライトフライに倒れ，2塁残塁で得点できませんでした。その裏，中央は2アウト満塁のピンチを迎えましたが，相手の3番打者をセカンドゴロに打ち取り無得点で切り抜けました。

3回の中央の攻撃は9番ピッチャーの青木（真）（3年・岩瀬西中）からでしたが三振に倒れ，先頭バッターに戻って小松崎君がライトフライ，2番阿野田がショートゴロに打ち取られて三者凡退。その裏は，中央にとっては悪夢のイニングになってしまいました。2ランホームランを浴びた時点でピッチャーは青木（真）からエースの野口（3年・玉里中）に交替しましたが，水戸啓明打線の猛打を止めることはできませんでした。野口の暴投やボークもあって，この回6点を失ってしまいました。

4回表は三者凡退。その裏には1点追加され9対0に。5回になってようやく中央らしい攻撃が見られました。青木（尚）のこの日2本目のヒットなどがあり，2アウト2，3塁と攻めたてましたが，残念ながら得点には至りませんでした。



バッターボックスに立つ身内

6回はあえなく三者凡退を喫し，その裏さらに追加点を与え，万事休す。中央の夏が終わりました。試合に負けたとはいえ，最後まで元気いっぱい潑刺（はつらつ）としたプレーをみせてくれた選手諸君に感謝します。また，毎試

合球場で応援してくれた保護者

の皆様，本当にお疲れ様でした。この経験は選手たちにとってかけがえのないものとなりました。引き続き中央高校野球部への応援をよろしくお願いいたします。（おわり）



先発の青木（真）の投球



今後が楽しみな柴田のバッティング



救援した野口のピッチング